



朝晩まだ寒い日が続きますが、梅の花が咲き、桜のつぼみも膨らみ始めて、少しずつ春に向かっていく気配がします。

学年末テストが終わって一週間ほど経ちますが、生徒の皆さんはどのように過ごしていますか？

図書館には600冊以上もの本が入り、ようやく登録が済みました。大量なので新着本コーナーに並びきれず、通常の書架に置いた本もあります。どんな本が入ったのか、ぜひ、図書館に寄ってみてくださいね♪

2022年本屋大賞/ミネートあります

大賞発表は4月6日

/ミネート10作品のうち、いまは5作品があります。

いろいろ読み比べてみて、大賞を予想してみましょう！

★「同志少女よ、敵を撃て」逢坂冬馬/著 早川書房

独ソ戦が激化する1942年、モスクワ近郊の農村に暮らす少女セラフィマは、急襲したドイツ軍によって母親や村人たちを惨殺された。復讐のため彼女は一流の狙撃兵になることを決意し、最大の激戦地へと向かう。



★「星を掬う」町田そのこ/著 中央公論新社

ラジオ番組の賞金が欲しいゆえに、ある夏の思い出を投稿した千鶴。ほどなくして、自分を捨てた母の「娘」だと名乗る人物が連絡をしてきて、彼女たちと同居することになる。その母は若年性認知症を患っていて……。



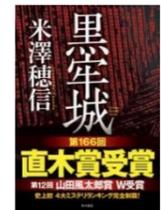
★「夜が明ける」西加奈子/著 新潮社

表紙の絵が印象的なこの作品の主なテーマは、現代日本の若者の貧困と虐待、過重労働。思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長の物語は、作者自身も「書きながら辛かった」という。あなたの心にはどのように響くだろうか。



★「黒牢城」米澤穂信/著 KADOKAWA

直木賞受賞作品。信長に反旗を翻した荒木村重と智将・黒田官兵衛の、閉ざされた城での推理戦。事件の裏には何が潜むのか。4大ミステリランキング制覇の話題作！



★「赤と青とエスキース」青山美智子/著 PHP 研究所

メルボルンの若手画家が描いた一枚の絵画(エスキース)がいろんな時代や人々をめぐるって、5つの愛の物語。一度読むだけでは足りない、二度読みしたくなる作品。

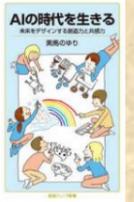


新着本紹介 ピックアップ

AIの時代を生きる 未来をデザインする創造力と共感力

(岩波ジュニア新書) 美馬のゆい/著

AI(人工知能)を活用した技術が進んで AI に対する漠然とした不安と期待があるなかで、AI とは何かを理解し、よりよい社会を実現していく方法を考えるために書かれた本。



親を頼らないで生きるヒント—家族のことで悩んでいるあなたへ

(岩波ジュニア新書) コイケジュンコ/著

さまざまな理由で「親を頼れない」と感じている中高生のために書かれた本。先輩にあたる若者たちの体験談やメッセージ、相談ができる支援先情報も記載。「自分のために生きる幸せな人生」にしていこうためにこの本を役立ててほしい、と著者は語る。



地図でスッと頭に入るヨーロッパ47カ国

J・タウンゼント/監修

楽しいイラストマップと読みやすい文章で、ヨーロッパの国ごとに歴史と文化、有名人などの基本情報を紹介。いま問題となっているウクライナやロシア、NATOについても記載あり。



「鬼滅の刃」の折れない心をつくる言葉 藤寺郁光/著

人気作品の個性溢れるキャラクターたち。彼らが語る言葉の意味を、「感情を動かす」「自分を信じる」「あきらめない」「強くなる」「仲間を想う」の5つのテーマに沿って掘り下げて、折れない心をつくるヒントを考える。



行った気になれる!妄想韓国ドラマ旅 鈴木ちひろ/著

コロナ禍で大ヒットした「3大ドラマ」のロケ地を空想旅行! “あのシーン”のプチ情報や韓国ごはん、ソウルの街並みなどを韓国在住8年の著者が紹介。頭の中で妄想を膨らませて、行った気になれる!?



一ノ瀬ユウナが浮いている 乙一/著

遠藤大地は17歳のとき、幼なじみの一ノ瀬ユウナを水難事故で亡くしたが、彼女のお気に入りの線香花火を灯すと、なんと彼女が姿を現して…。人気作家の青春恋愛小説。



ふりまわされない。 小池一夫/著

漫画作家、小説家、脚本家、作詞家など多才な著者がツイッターでつぶやいた言葉を書籍化。心をラクにする300の言葉は、どれも胸にストーンと落ちる。



春休み貸出しています

貸出期間: 2/21(月)~4/12(火)

貸出冊数: 10冊までOK ※冊数は応相談



~本屋大賞とは~ 全国の書店員さんが過去一年間に刊行された日本の小説のなかからイチオン作品を投票して「大賞」を決めます。